2　「政治的教養を育む教育」の身に付けさせたい力の視点

◆　身に付けさせたい力

様々な課題をとおして、他者と連携・協働しながら、自らの考えを深め、主体的に判断し、よりよい社会のために行動できる姿勢を育てていくために、それぞれの発達の段階に応じた指導の中で、身に付けさせたい力の視点を「学びのプロセス」として整理しました。

ここでは、８つの「学びのプロセス」を整理しましたが、必ずしも最初から順に学習しなければならないということではありません。また、単元や毎時間の授業で全てのプロセスを学習しなければいけないというものでもありません。この「学びのプロセス」の視点を、単元を構成する際や毎時間の授業実践、さらには教科・領域における学習活動等に積極的に取り入れて行くことが大切です。

本指導資料では特に小・中学校の社会科、特別活動、総合的な学習の時間の指導例を示すことにしました。

学びのプロセス　《大切にしたい学習活動》

○自分の身の周りのできごとに関心をもつ
　関心をもって積極的に関わろうとすること
○学級、学校、地域等の課題に気付く
　身の周りのできごとに対して情報を収集できること
○課題について考える
　課題について多面的・多角的に考えること
○様々な考えから、自分の考えを構築する
　課題を自分のこととしてとらえ、判断すること
○他者の考えを聞き、自分の考えを再構築する
　他者と連携・協働し、判断・調整して相手を尊重して考えること
○再構築した自分の考えを表明する
　課題に対して、自分の意思を決め、発表すること
○主体的に社会に参画する
　よりよい社会をつくるために、積極的に社会に参画していくこと
○自分自身を振り返る
　自分自身を振り返り、次の活動につなげていくこと

≪学びのプロセス≫の視点を取り入れた授業の場面

（□小・中学校共通のこと、◇主に小学校に関わること、◆主に中学校に関わること）

○自分の身の周りのできごとに関心をもつ場面

□学習する単元や時間のねらいを明確にしましょう。

◇学校や地域で学習課題になりそうな教材や問題点を明らかにしましょう。

◆ニュースや新聞で社会の動きに関心をもつことができるようにしましょう。

○学級、学校、地域等の課題に気付く場面

□ねらいを達成するための教材や資料を用意しましょう。

◇社会見学や体験活動を何のために行うのかねらいを明らかにしましょう。

◆既習事項や今までの経験から得られた疑問や考えを大切にすることができるようにしましょう。

○課題について考える場面

□「どうして～だろうか」「なぜ～だろうか」「どのように～したのだろうか」など課題意識をもたせる学習課題を設定しましょう。

◇いろいろな立場の考えや意見があることに気付くことができるようにしましょう。

◆国際社会や文化の違い等でさまざまな視点があることに気付くことができるようにしましょう。

○様々な考えから、自分の考えを構築する場面

□学習課題を自分のこととしてとらえられるように設定しましょう。

◇「どうしたらよりよい社会（学校、地域）になるのか」を考えることができるようにしましょう。

◆「対立と合意」「効率と公正」（※）があることに気付くことができるようにしましょう。

○他者の考えを聞き、自分の考えを再構築する場面

□なぜ、そのように考えるのか、根拠をもつことができるようにしましょう。

□他人の意見を尊重し、しっかりと聞いて、自分の考えと比べることができるようにしましょう。

○再構築した自分の考えを表明する場面

□考えたことをノートに書いたり、説明したりできるようにしましょう。

○主体的に社会に参画する場面

□よりよい社会にするためにはどうしたらよいかを考えることができるようにしましょう。

□今までの学習をもとにして考えることができるようにしましょう。

○自分自身を振り返る場面

□単元のまとめを書いて、学びを振り返り、自己評価する場面を設定しましょう。

（※）効率と公正…「効率」とは社会全体で「無駄を省く」という考え方
「公正」とは手続きの公正さや機会の公正さ、結果の公正さ等